

クロストリジウム・サーモセラム由来のペクチンアセチルエステラーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1224

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ペクチンアセチルエステラーゼは、アセチル化ペクチンからアセテートの加水分解を触媒します。

別名 ペクチンアセチルエステラーゼ; PAE

製品情報

由来 クロストリジウム・テルモセラム

形態 3.2 M 硫酸アンモニウムで供給されます

EC番号 EC 3.1.1.-

分子量 23800 Da

純度 > SDS-PAGEによって判断された95%

活性 100 U/mg

濃度 200 U/ml

最適pH 6.5 (6~7.5の範囲で安定)

最適温度 50°C (60°Cまで安定)

単位定義 1ユニットは、50 mMリン酸緩衝液 (pH 6.5) 中で、50°Cで1 mg/mlのBSAを含むp-nitrophenyl acetate (アッセイ中1 mM) から1分間に1μmolのp-nitrophenolを放出するのに必要な酵素の量として定義されます。

使用法とパッケージング

調製方法 使用前に酵素沈殿を完全に均一化するために、バイアルを十分に振とうしてください。

保管・発送情報

保存方法 4°Cで保管してください (常温で発送されます)